

3 短期大学・高等専門学校

(1) 表5に示すとおり、平成29年3月卒業者のうちの就職者総数は754人で、前年より48人増加している。そのうち県内に就職した者は543人で、前年より23人増加している。県内就職率は72.0%で、前年より1.7ポイント低下している。

県内就職率を学科別でみると、社会学科、教育学科、人文学科、家政学科で70%を超える高い率になっている。

3ページ表3で示したとおり、県外就職者は211人で、前年より25人増加している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、九州・沖縄91人(43.1%)、関東75人(35.5%)、近畿22人(10.4%)、中国11人(5.2%)、四国6人(2.8%)、中部5人(2.4%)、その他1人(0.5%)の順となっている。

進学者総数は189人で、前年より6人減少している。県内進学率は58.7%で、前年より3.4ポイント低下している。

表5 学部別進路状況(短期大学・高等専門学校) (単位:人、%)

区 分	総 数		人 文		社 会		工 業		農 業	
	29年3月	28年3月	29年3月	28年3月	29年3月	28年3月	29年3月	28年3月	29年3月	28年3月
卒業生総数	1,068	1,023	233	242	21	17	146	142	40	38
就職者総数	754	706	172	159	21	17	92	91	15	16
就職率	70.6	69.0	73.8	65.7	100.0	100.0	63.0	64.1	37.5	42.1
うち県内就職者	543	520	127	123	20	16	18	15	8	6
県内就職率	72.0	73.7	73.8	77.4	95.2	94.1	19.6	16.5	53.3	37.5
進学者総数	189	195	27	27	-	-	50	51	25	22
進学率	17.7	19.1	11.6	11.2	-	-	34.2	35.9	62.5	57.9
うち県内進学者	111	121	8	8	-	-	30	34	1	-
県内進学率	58.7	62.1	29.6	29.6	-	-	60.0	66.7	4.0	-
一時的な仕事に就いた者	33	38	7	14	-	-	-	-	-	-
一時的な仕事に就いた者の率	3.1	3.7	3.0	5.8	-	-	-	-	-	-
うち県内居住者	22	25	7	10	-	-	-	-	-	-
県内居住率	66.7	65.8	100.0	71.4	-	-	-	-	-	-
その他総数	92	84	27	42	-	-	4	-	-	-
その他の率	8.6	8.2	11.6	17.4	-	-	2.7	-	-	-
うち県内居住者	47	47	15	28	-	-	4	-	-	-
県内居住率	51.1	56.0	55.6	66.7	-	-	100.0	-	-	-

つづき

区 分	家 政		教 育		芸 術	
	29年3月	28年3月	29年3月	28年3月	29年3月	28年3月
卒業生総数	161	144	337	314	130	126
就職者総数	128	130	284	259	42	34
① 就職率	79.5	90.3	84.3	82.5	32.3	27.0
うち県内就職者	94	100	254	242	22	18
県内就職率	73.4	76.9	89.4	93.4	52.4	52.9
② 進学者総数	7	7	26	31	54	57
進学率	4.3	4.9	7.7	9.9	41.5	45.2
うち県内進学者	2	4	24	29	46	46
県内進学率	28.6	57.1	92.3	93.5	85.2	80.7
③ 一時的な仕事に就いた者	3	2	14	9	9	13
一時的な仕事に就いた者の率	1.9	1.4	4.2	2.9	6.9	10.3
うち県内居住者	2	2	12	9	1	4
県内居住率	66.7	100.0	85.7	100.0	11.1	30.8
④ その他総数	23	5	13	15	25	22
その他の率	14.3	3.5	3.9	4.8	19.2	17.5
うち県内居住者	10	1	12	13	6	5
県内居住率	43.5	20.0	92.3	86.7	24.0	22.7

(2) 図6に示すとおり、平成29年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況を見ると、医療、福祉が266人(35.3%、前年に比べ6.2ポイント低下)で最も多く、次いで教育、学習支援業119人(15.8%、同4.0ポイント上昇)、製造業74人(9.8%、同3.1ポイント上昇)、卸売業、小売業70人(9.3%、同2.1ポイント上昇)の順となっている。

県内就職者を産業別で見ると、図7に示すとおり、医療、福祉が230人(42.4%、前年に比べ7.0ポイント低下)で最も多く、次いで教育、学習支援業109人(20.1%、同4.7ポイント上昇)、卸売業、小売業45人(8.3%、同0.6ポイント上昇)、金融業、保険業30人(5.5%、同0.7ポイント上昇)、宿泊業、飲食サービス業30人(5.5%、同0.8ポイント低下)の順となっている。

図6 産業別就職状況の推移(短期大学・高等専門学校)

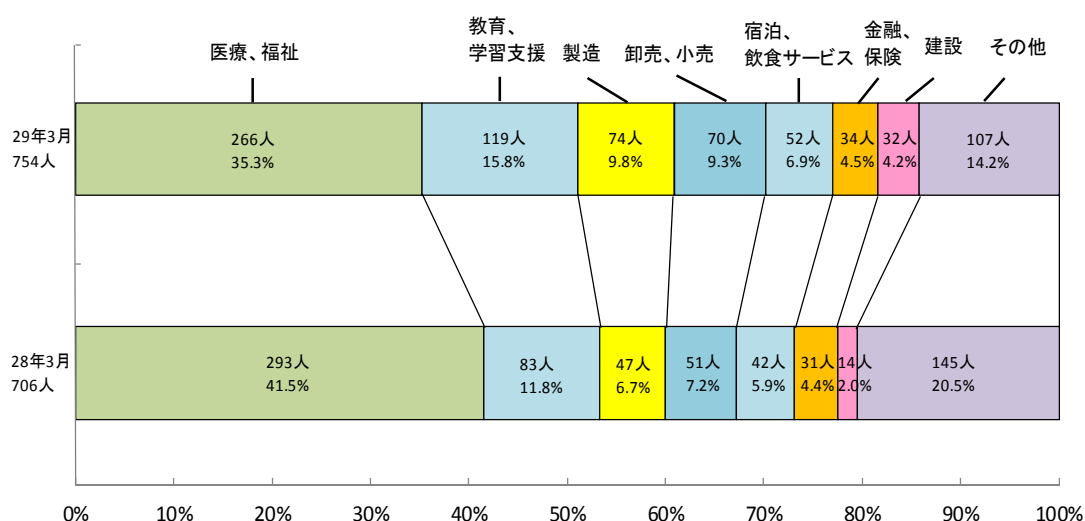


図7 産業別県内就職状況の推移(短期大学・高等専門学校)

